

近藤経一 (たかとう) 劇作家、小説家。明治二十年四月、二十八日東京生れ (一八九七)。大正十一年東京帝國大學文藝部國文學科卒。在學中から雑誌「白樺」等へ戯曲、小説を發表し、劇作家として知られた。十二年アメリカに渡つて映畫界を視察。歸國後雑誌「映畫時代」編輯者となり、また映畫製作にも當る。

- 譯著書「天才の手紙」(共譯・小泉鐵編、大正七年一月八日洛陽堂)、「白樺脚本集」(合著・白樺同人、大正八年八月十五日新潮社)、「白樺の林」(合著・白樺同人、大正八年十一月十日聚英閣)、「第一の誕生」(大正八年十一月十八日天祐社)、「コシ京と楊貴妃」(脚本集第一編)、「(大正九年七月十日新潮社)」、「コルクレシヤ」若く麗はしき人妻の死(脚本集第一編)、「(大正十年二月八日新潮社)」、「櫻子の巻」(大正十一年二月十五日新潮社「新進作家叢書」)、「七年の後」(大正十一年五月十四日新潮社「現代脚本叢書」)、「周の幽王」(大正十二年八月二十五日新潮社)、「愛媛縣地圖」(昭和三年五月五日新潮社)、「映畫スター全集」(編、4・昭和四年十月十五日、10・五年四月二十日平凡社)、「ロバート・テイ・ジョンズ(ボビー・オー・ビー・キー・ティーム)」(ボビー・ジョンズ)著「ダウン・ザ・フェアウエイ」(譯、昭和八年二月二十日白黒書店)等。

